



—東地中海地域ニュース—

シリア：ハマス政治局長のスピーチ

(10月3日付ティシュリーン紙)

10月2日ダマスカスで、2009年アラブ文化都市エルサレムの市民運動グループによる十字軍からのエルサレム解放を祝う式典が開催され、マシュアル・ハマス政治局長がスピーチを行った。概要は以下のとおり。

1. パレスチナ人民の前に、和解と統一以外の選択肢はない。なぜなら、エルサレム、アル・アクサー・モスク、帰還権のためには、すべてのパレスチナ人が統一を求めているからである。ハマスは、今後も和解に固執していくし、抵抗を諦めることも、土地と権利を諦めることもない。
2. パレスチナ諸派は、和解に前向きに取り組み、対話が行われる度に譲歩をするよう努めてきた。そして、今も対話に向けてその手を伸ばしているが、より広範にアラブ諸国が対話の仲介努力に参加することを求める。
3. イスラエル及びイスラエルの同盟国に対し、占領の継続、殺人、聖地の冒瀆、歴史の捏造を目的としたパレスチナ人民に対する全面戦争を警告する。実際に、イスラエルは占領されたエルサレムのユダヤ化及びアル・アクサー・モスクの占拠を熱狂的に進めているが、これは60年にもわたる占領がパレスチナ人の意向をくじくことが出来なかったからである。
4. 全てのパレスチナ人民に対し、抵抗の選択、及び土地・エルサレム・権利への固執を求める。パレスチナ抵抗勢力は、これらを交渉材料としない。又、アラブ諸国に対し、パレスチナの人民・抵抗・聖地への支持を求めると共に、占領し、殺人を行っているイスラエルとの関係正常化へ歩むことを警告する。
5. イスラエルのガザ攻撃について調査したゴールドストーン委員会の提言についての協議延期を求めたパレスチナの声に非難する。
6. イスラエル人捕虜シャリート兵士のビデオテープの引き替えとして、20名のパレスチナ人女性捕虜が釈放されたことは、パレスチナ人にとっての勝利である。イスラエルは、力と抵抗による言葉以外は理解出来ないのだ。パレスチナ人捕虜の人数は1万2千名に及んでいる。全てのパレスチナの抵抗勢力は、パレスチナ人捕虜を解放することにコミットしている。